取扱説明書

WDR 700TV ライン
52 万画素超解像度ドーム型暗視カメラ

NS-H519WDIC
屋外用）

このたびは本商品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

製品の定格及びデザインと仕様は改善等のため予告なく変更する場合があります。

保証書は、『お買い上げ日・販売店』などの記入を必ずお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。

安全に正しくご使用いただくため、ご使用前にこの取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになったあとは、保証書と取扱書を一緒にいつでも見られるところに保管し、必要なときにお読みください。

目　次

安全上の注意・・・

1. 安全上のご注意

ご使用の前に、この『安全上のご注意』をよくお読みの上、正しくお使い下さい。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使い頂き、使用する方への危害や損害を未然に防止する為のものです。安全に関する重大な内容なので、必ず守ってください。

この記号は高電圧が存在するので人体に感電の恐れ・危険があることを警告するマークです。

この記号は、誤った扱いをしたときに人体に損傷を与えたり、器物に損傷をあたえる可能性があることを警告するマークです。

1. 正規の電源を使用してください。指定された電圧を越えるもの(DC12V)を供給する電源にこの製品を接続すると製品に損傷を与えます。
2. カメラ本体に金属などの異物を差し込むと感電する場合や火災になる危険ガがあります。
3. 濡れたままでまたは埃をかぶった状態で使用しないでください。製品は清潔で、乾燥している場所でお使いください。また濡れた手で本製品を扱うと感電する危険があります。
4. 本製品の外部のケースを清掃するには、軽く湿らせられた布を使用してください。溶剤は厳禁です。
5. 製品が作動しない場合は故障も考えられます。異常な音やにおい又は煙の出る場合は直ちにコンセントからプラグを抜いて販売店にご連絡してください。
6. トップカバーをはずしたり、分解したりすると故障の原因となります。
7. 製品は精密機械なので、強く落下したり、ぶつけたりして破損しないよう注意深く扱ってください。
8. 万一、通常の使い方で故障した場合は、直ちに使用を中止し、修理または交換のため販売店にご連絡ください。
9. カメラは、埃の多いところ、高温多湿のところ、直接太陽光などの強い光がはいるところでは使用しないでください。故障の原因となります。

免責事項

- 本製品で録画した映像は、個人として利用するほかは、著作権法上権利者に無断で利用できませんのでご注意ください。
- 雷、津波、地震、その他自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により故障および損傷が生じた場合、または弊社または弊社が許可した者以外が分解や改造した場合、または腐食や錆などによる外観の劣化の場合、原則として有償での修理とさせていただきます。
- 本製品の保証は、本書記載の内容をお守り頂かなかった場合、適用対象になりません。
- **弊社では機器の故障、不具合、トラブルに対しての出張対応は行いません。修理、設定、などについてはセンドバック方式にて対応させていただきます。**

2. はじめに

このワイドダイナミックレジンデジタル映像カメラは、高精彩を可能にするソニー1/3インチCCDを搭載し、水平解像度700TVラインを実現しました。
スーパーワイドダイナミックレンジ機能は、強い逆光環境下でも、強い光と低い光を同時にとらえて補正します。また、3Dノイズリダクション（（雑音補正）機能は、MPEG/MPEG4/H.264圧縮方法を採用のどのDVRでも自動的にノイズを90%以上減少させ、きれいな画像を保存させます。
カメラサイドで、安全保護のためモニタリングしながら優先的にモーション検知警告を作動させます。また、設定されたプライバシーゾーンでモニター出来ます。

3. おもな特徴

高解像度
搭載のCCDは最先端の高精細画像を提供する650TVラインです。

ワイドダイナミックレンジ
高品質のWDR機能で、強い光と弱い光を補正して完全なイメージを作ります。WDRの画像効率を強化し、ダイナミックな効果に切換え表現します

Day＆Night
IRカットフィルターは、日中と夜間の監視のために、自動的にカラー、白黒モードに変化します。Day＆Night機能は自動・手動・外部入力制御の選択ができます。

プライバシーマスク
自在のプライバシーマスク設定（画面15か所設定可能）。デジタルズーム機能でﾌﾟﾗｲﾊﾞｼｰｿﾞｰﾝは大きくなります。

高感度
高感度、高い耐ブルーミング、高いS/N比

デジタルノイズリダクション（DNR）
2D/3-DNR機能は低照度の環境下で効果を発揮します。ノイズ縮小効果はMPEG/MPRG4/H.264圧縮のDVRに録画された画像の品質に現れます。

デジタルスローシャッター
低照度の環境下のとき効果を発揮します。低照度においてシャッタースピードを減少させ、カメラの感度をアップさせます。

モーション検知
カメラ側で、モーション検知機能が設定でき、広範囲なモーションエリアをモニタリングすることができます。侵入者がモーションエリア内に入ればアラーム信号を発します。

レンズ
DCバリフォーカルオートアイリスレンズ搭載

OSD（画面表示）
OSDでメニュー設定できます。

その他の接続
RS-485接続でキーボード/パンチルトコントローラーによる制御ができます。モーション検知機能と組み合わせて外部アラームに接続することも可能です。

画像制御
16倍デジタルズーム、静止画、ポジ/ネガ画像、ミラー機能（左/右）、正転逆転機能（上/下）、180度回転

その他のアプリケーション

すべてOSDメニューから制御できます。AES（自動電子シャッター）、AI（自動焦点）、GC（ゲインコントロール）、WB（ホワイトバランス）、BLC（バックライトコントロール）、フリッカーレス、ラインロック

4. 梱包内容

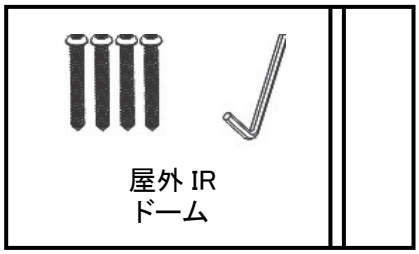
下記に示すすべての製品が梱包されているかチェックしてください。不足品がある場合は速やかに弊社の販売店にお申し付けください。

ドーム（赤外線タイプ）

取扱説明書

電源アダプター

アクセサリー



L 型取付金具（オプション）

5. 各部の名称及び機能

5.1 OSDボタン（メニュー）

No.	名称	機能
1	UP	デジタルズーム　アウト/アップ作動ボタン
2	DOWN	デジタルズーム　イン/ダウン作動ボタン
3	RIGHT	値を（＋）
4	LEFT	値を（ー）
5	ENTER	メニューに入る/出る

OSDを調整するために、本体のネジを開けて、ドームカバーをゆっくり取り外してください。OSDボタンは本体の上部にあります。
コーキング防水処理をしてください。付属のビスで天井等に固定し、屋外設置の場合

6. 設定

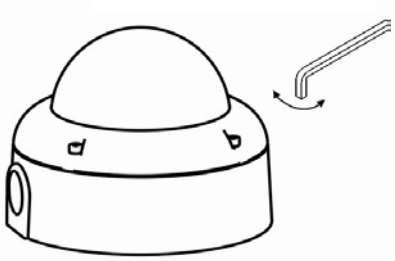
6.1 カメラ設定と操作

1.ドームカバーを外す

屋内ドームカメラは、メインボディを反時計回りに回してゆっくりドームカバーを外してください
屋外ドームカメラは付属のLレンチを使ってカバーを外してください。耐侯製ハウジング（カバーの上にはめ込まれている）も緩めてください

■屋内赤外線ドームカメラ

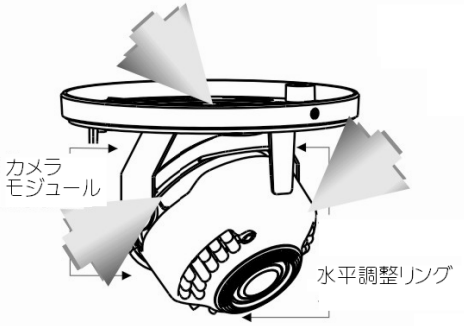
■屋外赤外線ドームカメラ



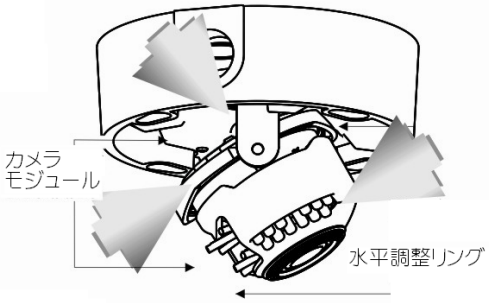
2.カメラ

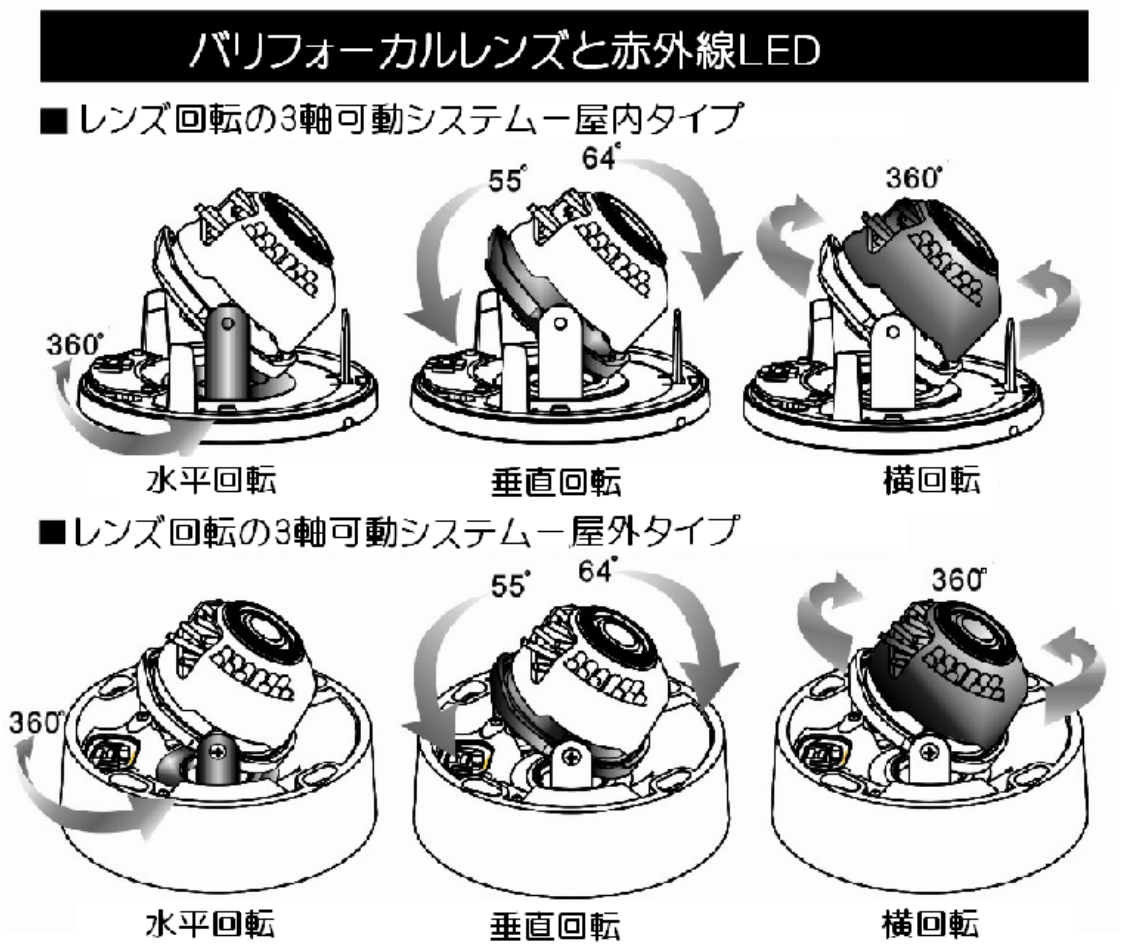
＊パン・チルト・回転どの方向でも設定できます。
＊パン（横方向）は360度動きます
＊チルト（縦方向）は119度（一方向へ64度、もう片方へ55度）
＊回転方向は360度

■屋内赤外線ドームカメラ



■屋外赤外線ドームカメラ





＜注＞この製品は連続で水平に360度回転しません。

3.バリフォーカルレンズ設定

ズームレバーを緩めてから、好みの画角を得るため回転させます。次に焦点レバーを緩めて焦点が合うまで回転させます。設定が終わったら、レバーを絞めてください。

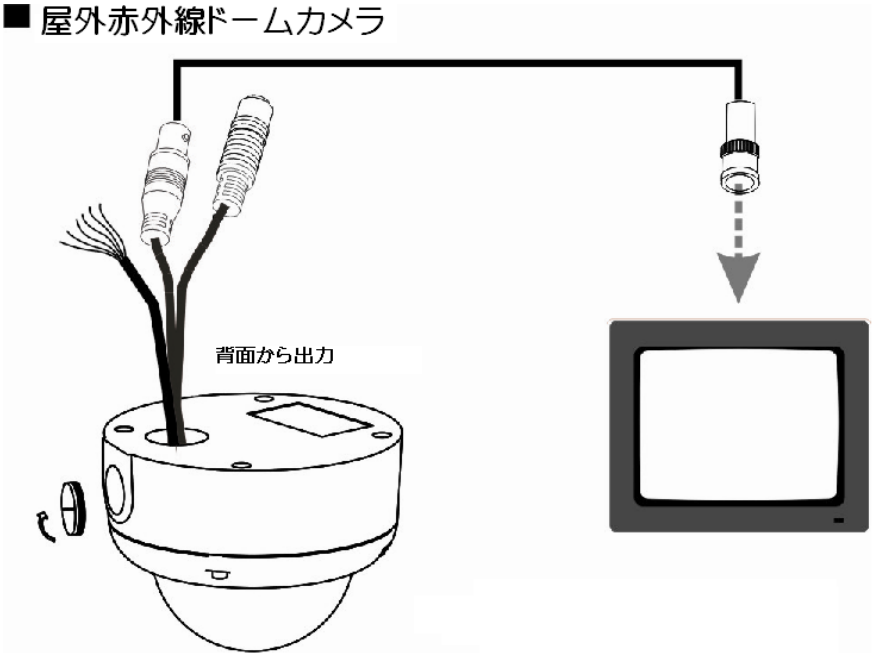
4. ドームカバーをはめる

すべての設定が終了したら本体にドームカバーをはめ込みます。設定は外したときと逆です。

6.2 モニターに接続

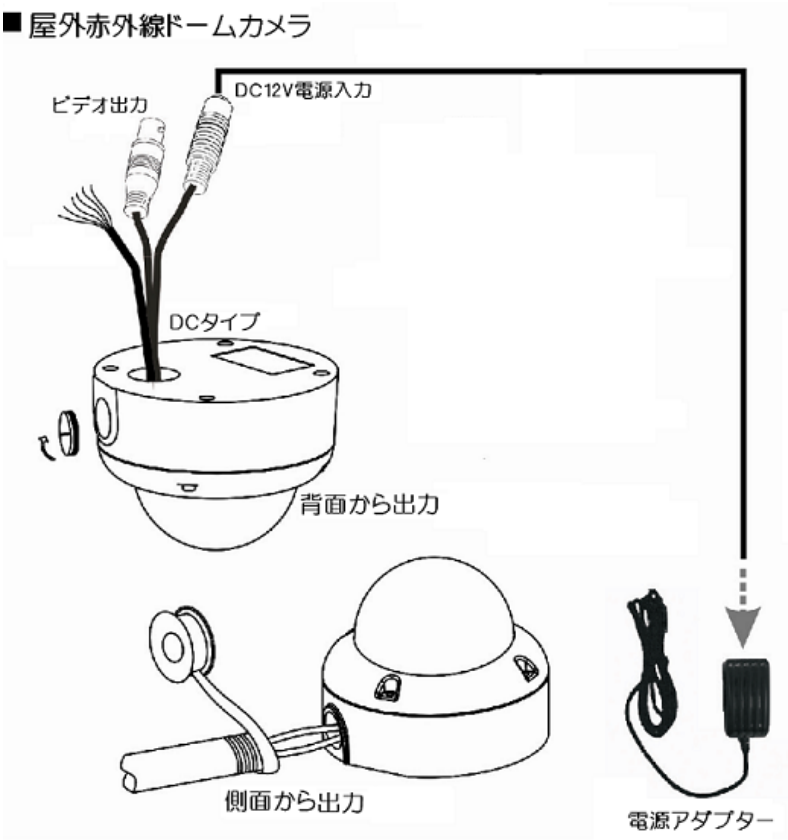
カメラのビデオアウト（BNCメス）を同軸BNCケーブルなどでモニターに接続してください。

■ 屋外赤外線ドームカメラ



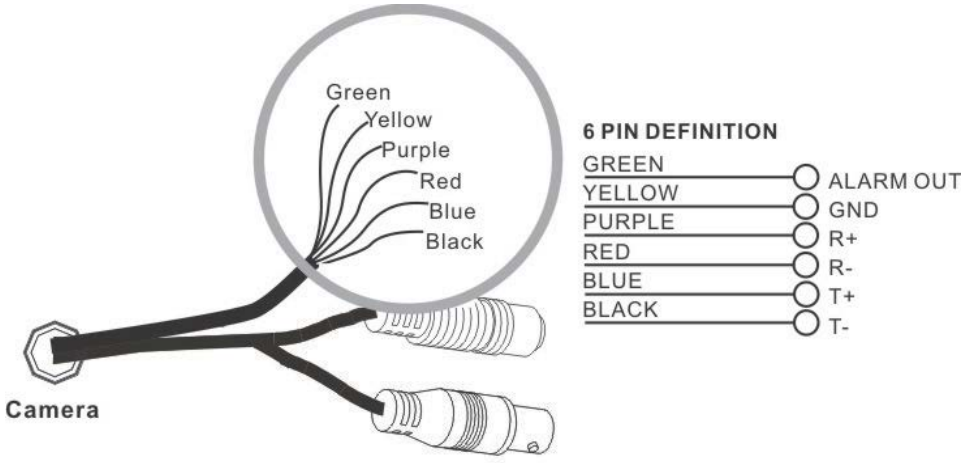
6.3 電源に接続

DC-AC電源アダプタへ接続してください。
電源は付属のACアダプター（DC12V/1A）をご使用ください。

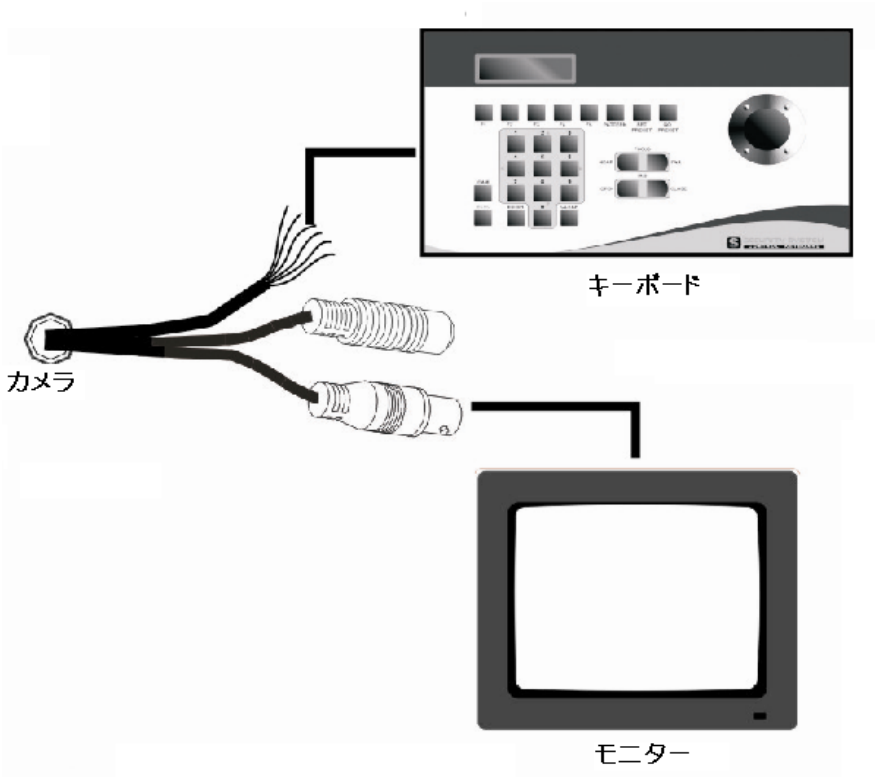


6.3アラームアウト接続

キーボードとアラームの接続はセットアップガイドの項を参照してください



6.4.1 キーボードとの接続



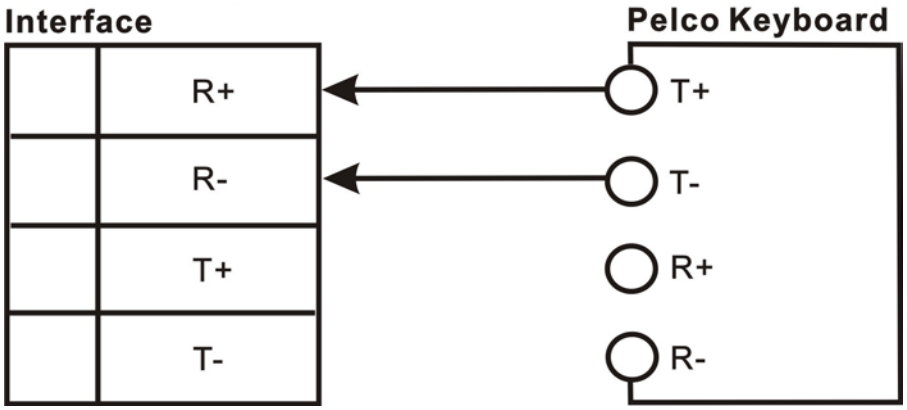
ペルコキーボード(または互換性機種)設定

RS-485によって通信可能です。 図1参照
カメラ側のR+をキーボードのT+に接続、キーボードのT-にカメラ側のR-を接続
後部のパネルキーまたは遠隔コマンドによってカメラIDを調整します。プロトコル・伝送速度・パリティチェックを調整します。

情報	設定
カメラ ID	0 ~ 253 for P protocol
	1 ~ 255 for D protocol
プロトコル	PELCO
伝送速度	2400, 4800, 9600, 19200
パリティ	NONE

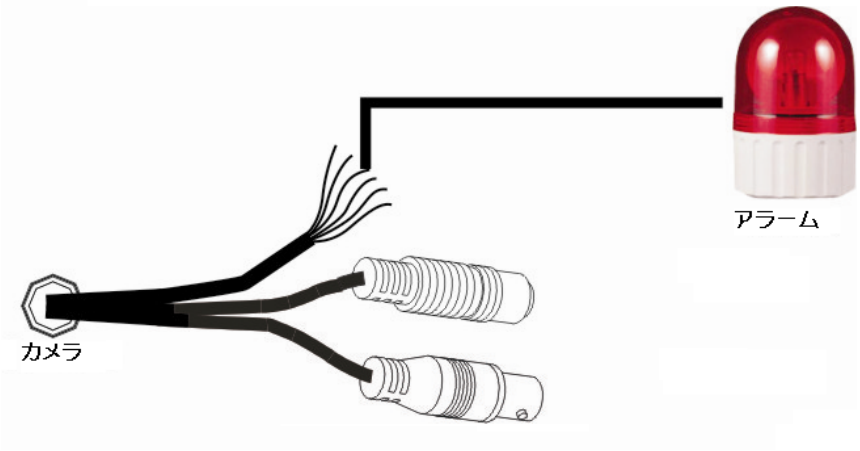
カメラの伝送速度はキーボードの伝送速度と同じでなければなりません。OSD設定で調整すれば有効になります。

（図1）

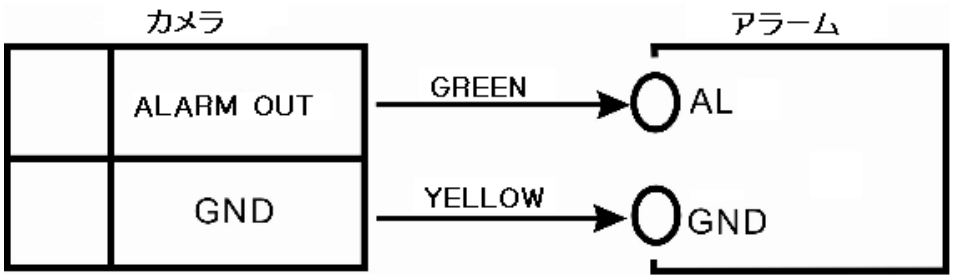


6.4 アラームの接続

カメラのDNIをアラームのGNDに接続。カメラのGNDをアラームのALに接続。



＜注＞アラーム出力はモーション検知により発生します。



7. 操作方法

7.1 ペルコ キーボード操作

標準ディスプレイモード

PELCO キーボード	カメラ機能
OPEN	ブライトネス +
CLOSE	ブライトネス -
ジョイスティック時計回り回転またはズームイン	ズーム(デジタル)
ジョイスティック反時計回り回転またはズームアウト	広角(デジタル)
NEAR	None
FAR	None
ジョイステック左	None
ジョイスティック右	None
ジョイスティック上	None
ジョイスティック下	None
エンター 95;メイン・メニューが画面に現れるまで、プリセットキー(およそ 5 秒)を押してください	OSD メインメニューへ移動

OSD セットアップモード

PELCO キーボード	カメラ機能
OPEN	サブメニューに入る
CLOSE	サブメニューから出る
NEAR	カーソルアップ
FAR	カーソルダウン
ジョイステック左	減少 (-)
ジョイスティック右	増加 (+)
ジョイスティック上	カーソルアップ
ジョイスティック下	カーソルダウン
Twist Joystick clockwise or Zoom In	None
Twist Joystick counterclockwise or Zoom Out	None

＜注>詳細は PELCO Keyboard(または互換性を持つ)マニュアルを参照してください。

8. システムセットアップ

8.1 デジタルズーム操作

通常の表示中に, ▲(UP)/ ▼(DOWN)ボタンを使ってデジタルズームを調整してください。

（ズーム範囲1～16 倍）フォーカスは、P8 を参照してください。

8.2 OSD（オンスクリーンディスプレイ）

メインメニュー

MAIN MENU	V120530
EXPOSURE	>
DAY/NIGHT	EXTERNAL>
WHITE BALANCE	>
PRIVACY	>
EFFECT	>
MOTION DETECT	ON>
COMMUNICATION	>
EXIT> SAVEALL	DEFAULT

メインメニュー設定

- セットアップ・メニューをディスプレイに表示するためには、ボタンパネルを使用してください。
- ▲(UP)/ ▼(DOWN) ボタンを使ってそれぞれのアイテムを選択してください。
- ◀(LEFT)/ ▶(RIGHT) ボタンを使って数値や項目を変更できます。
- ボタンパネルの「ENTER」を押すことで、メニューを開いたり閉じたりすることができます。

8.3 サブメニュー表示

8.3.1 EXPOSURE（露出）セットアップ

EXPOSURE	
WDR	>
SHUTTER	MANUAL>
HLC/BLC	BLC MANUAL>
SHUTTER AGC	LOW
NOISE REDUCTION	>
IRIS SPEED	031
DIS	OFF
DEFAULT	
RETURN>	

1.WDR：3 種類のモード[WDR] / [ATR-EX] / [NORMAL]があります。

それぞれのモードで、コントラスト(CONTRAST)/レベル(LEVEL)数値を LOW～HIGH の間で5段階に設定できます。逆光時の映像を見ながら調整してください。

2.SHUTTER:[AUTO]/[MANUAL]から選択します。
［MANUAL］設定時には、シャッタースピード（1/60～1/100 フリッカ対応～1/100,000）の間に設定できます。また、［AUTO］時は、HIGH LUMINANCE（高輝度 0～15）/LOW LUMINANCE（低輝度 OFF～25 段階）の数値を設定することができます。

3.HLC/BLC:［OFF］/［BLC MANUAL］/［BLC SMART］/［HLC］の 4 種類のモードから選択できます。

※WDR＝MANUAL 設定時にのみ選択できます。
BLC については、補正レベルと補正エリアを設定できます。

BLC

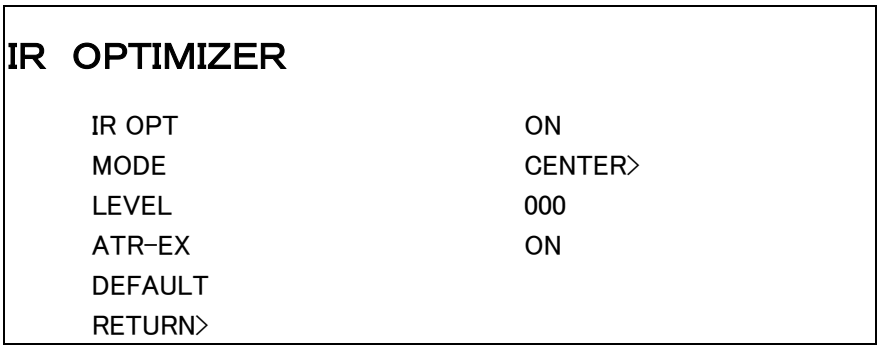
LEVEL	001
AREA SELECT	LEFT
TOP	NA
BOTTOM	NA
LEFT	NA
RIGHT	NA
DEFAULT	
RETURN>	

補正レベル(LEVEL)は 0～15 の間で設定できます。補正エリア(AREA SELECT)は逆光の強い場所を選択し、重点的に補正を行います。光源が画面のどの位置にあるか選択してください。
エリアは、中央部（CENTER）、上部（TOPS）、中央部と上部（TOPL）、下部（BOTTOMS）、中央部と下部（BOTTOML）、画面左（LEFT）、画面右（RIHGT）、指定位置（USER）の各エリアが登録されています。指定位置では、TOP/BOTTOM/LEFT/RGHT の各数値を指定してエリアを設定します。

4. SHUTTER AGC:
5.NOISE REDUCTION:ノイズ低減機能のレベルを設定できます。2D-NR、3D-NR のそれぞれのレベルを、OFF～5 段階に設定することができます。
6.IRIS SPEED:アイリス速度
7.DIS:ポールなどの屋外設置時に、本体が微細に振動する環境では「ON」を選択します。
固定された設置環境では「OFF」のままで使用します。
8.DEFAULT:EXPOSURE 画面内で設定した項目を出荷時設定に戻します。
9.RETURN:前画面に戻ります。

8.3.2 DAY/NIGHT設定

1.DAY：低照度時に赤外線を照射せず、カラー表示を維持します。
2.NIGHT：常時赤外線を照射します。モノクロ表示を維持します。
3.EXTERNAL：赤外線照射量の自動調整機能をONにします。



3-1.IR OPT：赤外線自動調整機能を ON/OFF 選択します。反射量に応じて出力を調整し、白飛び
などを抑制します。

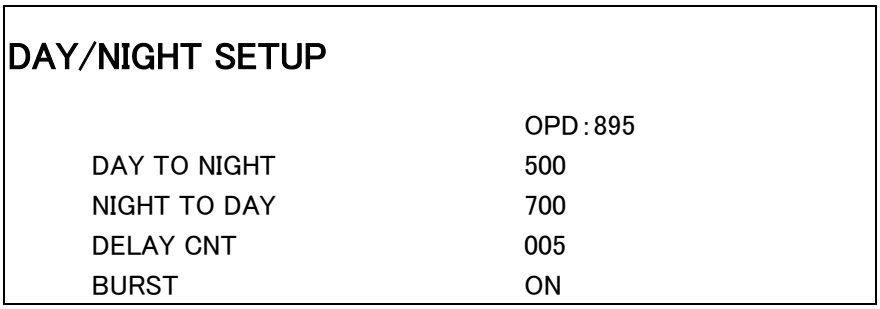
3-2.MODE：調整箇所を設定します。自動（AUTO）または、位置設定（CENTER>）を選択します。位置設定では、次画面でエリア設定を行います。

3-3.LEVEL：赤外線照射量を、0～31 の間で調整します。

3-4.ATR-EX：コントラストの諧調補正機能を ON/OFF 選択します。

4.AUTO：DAY/NIGHT 機能の切換え時の、状態と時間を設定します。

※OPD：カメラが検知した数値で、この数値が切換えの目安となります。



4-1.DAY TO NIGHT：DAY モードから、NIGHT モードへ切り替わるタイミングの数値を設定します。
ODP 値が設定した数値になった時に、NIGHT モードへ切り替わります。

4-2.NIGHT TO DAY：NIGHT モードから、DAY モードへ切り替わるタイミングの数値を設定します。
ODP 値が設定した数値になった時に、DAY モードへ切り替わります。

4-3.DELAY CNT：切り替わりまでの時間を設定します。ODP の数字が設定した数値になり、
この項目で設定された時間（秒）維持された場合に、切り替わります。

4-4.BURST：輝度の動作チェック機能の ON/OFF を選択します。

8.3.3 WHITE BALANCE 設定

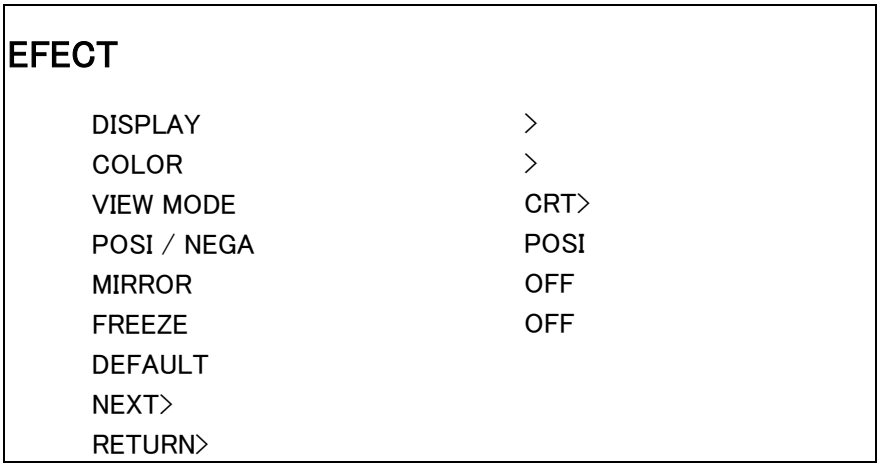
1.次画面でホワイトバランスの調整機能を切り替えます。
2..ATW：初期値です。自動的に色みを調整します。
3.ANTI-CR
4.PUSH　LOCK：設置環境で ENTER ボタンを押した瞬間の環境を基準としてホワイトバランスを調整します。
5.OUT DOOR：屋外設置時に選択します。
6.IN DOOR：屋内設置時に選択します。
7.MANUAL：青み（B GAIN）赤み（R GAIN）を手動で設定します。0～255 の数値で調整します。

8.3.4 PRIVACY 設定

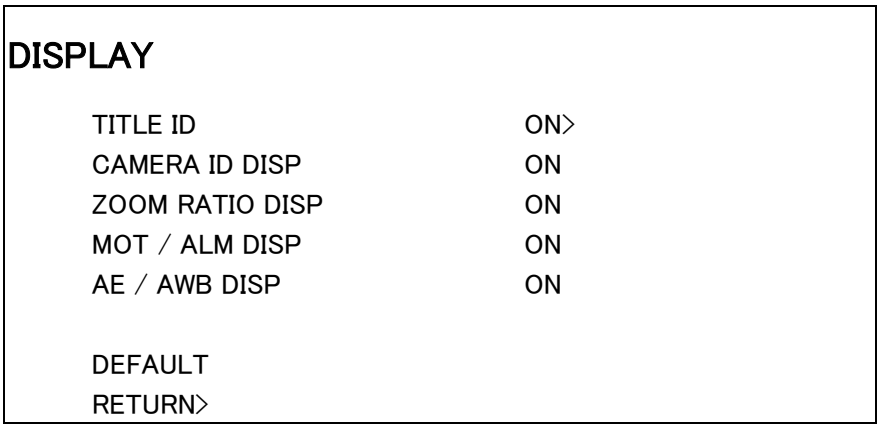
PRIVACY	
AREA SELECT	1/15
MODE	OFF
POSITION	>
COLOR	BLACK
TRANSP	1・0
MOSAIC	NA
DEFAULT	
RETURN>	

1.AREA SELECT：予め設定されているエリアを選択します。複数選択する場合は、MODEの項目をそれぞれONに選択します。また、位置・色などもそれぞれ設定できます。
2.プライバシーエリアの表示をON/OFF選択します。最大15箇所のエリアを複数同時表示させることができます。OFF時は、以下の設定は操作できません。
3.POSITION：プライバシーエリアの位置を設定します。1.で選択した初期値から移動させることができます。
4.COLOR：黒（BLACK）、白（WHITE）、マゼンダ（MAGENTA）、シアン（CYAN）、黄色（YELLOW）、青（BLUE）、緑（GREEN）、赤（RED）から選択できます。
5.TRANSP：プライバシーエリアの表示濃度を設定します。1・0（塗りつぶし）～0・0（透明）まで4段階の濃度が設定できます。
6.MOSAIC：プライバシーエリアの表示をモザイク表示に変更します。5.の項目が1・0、0・0以外の場合にON/OFF設定できます。

8.3.5 EFECT 設定



1.DISPLAY



1-1.TITLE ID：画面上にカメラタイトルを表示させます。A～Z、0～9、記号8種類から、16文字のカメラ名を設定できます。
1-2.CAMERA ID DISP：設定されたカメラIDの表示をON/OFF選択します。IDはCOMMUNICATIONの項目で設定し、RS-485による制御の際に設定します。
1-3.ZOOM RATIO DIP：デジタルズーム機能使用時の倍率表示を、ON/OFF選択します。
1-4.MOT / ALM DIS：モーション検知、アラーム検知時の画面表示を、ON/OFF選択します。
1-5.AE/AWB DISP：シャッタースピード、ホワイトバランス設定の画面表示を、ON/OFF選択します。

2.COLOR

COLOR	
BRIGHTNESS	100
CONTRAST	032
SHARPNESS	008
HUE	075
SATURATION	003
DEFAULT	
RETURN>	

1-1.BRIGHTNESS：画面の明るさを調整します。
1-2.CONTRAST：画面のコントラストを調整します。
1-3.SHARPNESS：画面のシャープネスを調整します。
1-4.HUE：画面の色相（色み）を調整します。
1-5.SATURATION：画面の彩度（色の強さ）を調整します。

3.VIEW MODE：仕様しているモニターを、LCD（液晶）、CRT（ブラウン管）のどちらかを選択します。次画面でゲイン調整を行えます。
4.POSI/NEGA：画面表示を、ポジ/ネガ選択します。
5.MIRROR：画面表示の方向を選択します。OFF（正位置）、HV-FLIP（正位置の反転）、H-FLIP（正位置の左右反転）、V-FLIP（正位置の上下左右反転）
6.FREEZE：ONにした瞬間の映像を、静止画として表示し続けます。
7.NEXT：次画面に移動します。表示言語を英語、中国語から選択する以外に設定項目はありません。

8.3.6 MOTION DETECT 設定

MOTION DET SETUP	
BLOCK DISP	OFF
DETECT SENSE	100
DURATION	5S
ALARM OUT	OFF
DEFAULT	
RETURN>	

1.BLOCK DISP：モーション検知の表示をブロック状態のノイズで表示します。
2.DETECT SENSE：検知感度を、1（低い）～127（高い）に調整します。
3.DURATION：モーション検知時の表示と信号の出力時間をせっていします。
4.ALARM OUT：モーション検知時の信号出力を、ON/OFF選択します。

8.3.7 COMMUNICATION

COMMUNICATION	
CAMERA ID	001
BAUD RATE	9600
PARITY	NONE
DEFAULT	
RETURN>	

※RS-485制御を行う場合にのみ設定します。

1.CAMERA ID：カメラを識別する際のIDを設定します。
2.BAUD RATE：制御信号のレートを設定します。
3.PARITY：パリティビットの種類を選択します。

故障かなと思ったら

トラブルシューティング

画像が現れません
☞電源ケーブル、電源の出力と、カメラとモニター間のビデオ接続をチェックしてください。

画面が薄暗い
☞カメラのレンズや、レンズの前のガラスが汚れていませんか？
清潔で柔らかい布でレンズを拭いてください
☞必要に応じてモニターを調整します。
☞カメラが非常に強い光に直面している場合は、カメラの位置を変更します。
☞レンズのピントを調整します。

画面が暗い
☞モニターのコントラストコントロールを調整します。
☞中間デバイス・機器がある場合は、正しく 75Ω/Hi-z かどうかを確認してください。

カメラは適切に動作していません、そして、カメラの表面は熱いです。
☞カメラが正しく適切な電源に接続されているかどうかチェックしてください。

モーション検出機能が機能していません。
☞メニューで MOTION DET が ON に設定されていますか？
☞モーション領域が正しく設定されていますか。

画像の色が正しくありません。
☞ホワイトバランスメニューの設定を確認します。

画面に“ちらつき”があります。
☞カメラの入光は直射日光か蛍光灯かを確認してください。蛍光灯でサイクルが合わない地域では FLK（フリッカーレス）設定にしてください。また、必要なら、カメラ位置を変えてください。

感度アップが機能していません。
☞EXPOSURE メニューの AGC の設定が OFF に設定されていないかチェックしてください。
☞EXPOSURE メニューをチェックしたら SHUTTER の設定も確認してください------。

保　証　書

株式会社NSKは、本製品についてご購入日より本保証書に記載の保証期間を設けております。
本製品は人命にかかわる医療機器等の用途には使用しないでください。
高い信頼性が求められる用途に使用する場合はシステムの故障等の処置に万全を期してください。
その場合、その結果に対しての損害賠償責任について弊社は負担いたしません。
本製品付属の取扱説明書などに従った正常な使用状態の下で、万一保障期間内に故障・不具合が発生した場合、本保障規定に基づき無償修理・交換対応を行います。
ただし、次のような場合には保障期間内であっても有償修理となります。
（修理を依頼される場合の往復の送料はお客様のご負担となります）

1.本保証書がない場合

2.本保証書に、ご購入日・お名前・ご購入代理店の印字等の記入がない場合、
　または購入先や購入日が改ざんされている場合
注:太字及び※印の項目は必ず記入願います。

3.取扱上の誤り、または不当な改造や修理を原因とする故障および損傷である場合

4.ご購入後の輸送・移動・移設・落下による故障および損傷

5.火災、地震、落雷、風水害、ガス害、塩害、異常電圧およびそのほかの天変地異など、
　外部に原因がある故障および損傷である場

6.他の機器との接続に起因する故障・損傷である場合

■初期不良交換、修理の手続き

●保証期間発生日より1ヵ月以内の故障に関しては、初期不良交換サービスの対象となります。

●お客様より初期不良である旨申告していただき、弊社がその申告現象を確認した場合に限り、初期不良品として新品と交換いたします。
（送料については弊社負担とさせていただきます）
ただし、検査の結果、動作環境や相性を起因とする不具合であった場合には、初期不良交換サービス対象とはなりません。
また、当サービスをご利用いただくには、お買い上げ商品のすべての付属品が揃っていることが条件となります。

●弊社では、出張修理あるいは不具合原因の現地調査は行っておりません。

●弊社ではセンドバック（先に修理依頼品または不具合品をお送りいただき、弊社より修理完了品または初期不良交換品をご返却する）方式でのみ、対応を行っております。

●修理費用については代理販売店や購入店を通しての対応となります。

⚠ 注意

■電源は家庭用AC100V（50Hz/60Hz）のコンセント以外で使用しないでください。また、タコ足配線はしないでください。火災、感電の原因となります。

■必ず付属のACアダプターを使用してください。

■ACアダプターのコードを傷つけたり、破損させたり加工したりしないでください。
重いものをのせたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると、コードを傷め、火災・感電の原因となります。

■ぬれた手でACアダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

■万一、発熱していたり、煙が出ている、異臭がするなどの異常があるときは使用しないでください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。
すぐにACアダプターをコンセントから抜いてください。

■動作環境範囲外で機器をご利用にならないでください。

■本器を改造あるいは、分解しないでください。火災・感電の原因となります。
また、内部には電圧の高い部分があり、感電の恐れがあります。

■長期間使用されないときは、安全のため、ACアダプターをコンセントから抜いておいてください。

■落雷の恐れがある場合は、すみやかに本器を停止させ、コンセントからACアダプターを抜いてください。（停電時のブレーカーの入切りによる突入電流が原因で機器が故障する場合があります。

■本器を次のような場所での使用や保管はしないでください。
●直射日光のあたる場所　●特に高温低温になる場所　●温度変化の激しい場所
●振動の多い場所　●油煙、湯気、湿気があたる場所　●静電気が多く発生する場所
●強い磁気や電磁波が発生する装置（発電機やアンプ）が近くにある場所
●機器の仕様に合わない不安定な場所や、落下の危険がある場所

■本器を移動、移設させる場合は、ACアダプターをコンセントから抜き通電停止の状態になってから配線を抜いて下さい。

■金融機器、医療機器や人名に直接または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。

⚠ 録画機についての注意

■湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■本器の通風孔をふさがないでください。
内部に熱がこもり、機器の不良や火災の原因となることがあります。
内蔵の記憶媒体は高温に弱い場合もあるため、適度な換気が必要です。

■3年に一度を目安に内部の清掃や稼働点検を販売店に依頼してください。
なお、内部清掃点検費用については、販売店にご相談ください。

■主に録画装置に使用している記録媒体としてのハードディスクは、永久的に使用可能な媒体ではありません（消耗品扱いとなります）。
次の留意点踏まえたうえでご使用ください。
●衝撃、振動をあたえないでください。　●電源の入切りを頻繁に行わないでください。
●推奨環境:周辺温度25℃以下　●稼働時間18,000時間を超えた場合は交換を推奨します。
●録画データや運用設定などは必要に応じてバックアップをおこなってください。

■本器の利用に際し、故障や誤動作、不具合などによってデータの消失などの障害が発生しても、弊社では保証しかねることをあらかじめご了承ください。

■ご注意

●本器の故障・誤作動・不具合・通信不良、停電・落雷などの外的要因、第三者による妨害行行為などの要因によって、通信、撮影、録画機会を逃したために生じた経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。

●通信、録画内容や保持情報漏えい、改ざん、破壊などによる経済的・精神的損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。

●本器のパッケージ等に記載されている機能、性能値は当社試験環境下での参考測定値であり、お客様環境下での性能を保障するものではありません。
また、バージョンアップ等により予告なく性能が上下することがありす。

●ハードウェア、ソフトウェア（ファームウェア）、外観に関しては将来予告なく変更されることがあります。

●ソフトウェア（ファームウェア）、更新ファイル公開を通じた修正や機能は、お客様サービスの一環として随時提供しているものです。
内容や提供時期に関しての保証は一切ありません。

●一般的にインターネットなどの公衆網の利用に際しては、通信事業者との契約が必要となります。

●通信事業者によっては公衆網に接続可能な端末の台数、機能、回線の使用率などについて設定を行っている場合がありますので、通信事業者と端末機器の導入に際して契約内容などをご確認ください。
このため弊社機器はすべての公衆網との接続を保障するものではありません。
通信事業者側の環境においては通信機能を有効にできない場合もありますのでご了承ください。

●公衆網に関連してDDNSサーバーのサービスを利用できる機器については、サーバーの臨時メンテナンスや、サーバー設備の障害、やむをえない事情によるサービス提供の停止、などの理由によりサービスを継続的に提供できない場合もありますので、あらかじめご了承願います。

●本器を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。

●本器及び弊社製品は日本国内での利用可能な製品であるため、別途定める保証規定は日本国内でのみ有効です。海外での利用はできません。
また、ご利用の際は各地域の法令や政令、ガイドラインなどに従ってください。

■免責事項

●お客様が購入された製品の使用において、録画映像の流出や、不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社では一切責任を負いません。

●お客様および第三者の故意または過失と認められる本製品の故障・不具合の発生につきましては、弊社では一切責任を負いません。

●製品の使用および不具合の発生によって、二次的に発生した損害（事業の中断および事業利益の損失、記憶装置の内容の変化・消失、また建物の現状復帰や取り外し施工についての費用・損失）につきましては、弊社では一切責任を負いません。

●製品の装着することによりほかの機器に生じた故障・損傷について、弊社では本製品以外についての修理費等は一切保障いたしません。

※本保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in japan.

製品保証書

※保証期間		ご購入日　　年　　月　　日　より **1 年間**
製品型番		**NS-H519WDIC**
※製造番号 シリアル NO.		
お客様 連絡先	お名前	
	ご住所	
ご購入 代理店様 所在地		

株式会社ＮＳＫ
〒461-0043 名古屋市東区大幸 1 丁目 10-15
受付：月～金曜日、9：00 ～ 12：00
13：00 ～ 18：00
※祝祭日、弊社指定休業日を除く
弊社 HP：http://www.n-sk.jp
お問合せ Mail：hp@nsk-sec.co.jp